

電気通信大学 平成17年度シラバス

授業科目名	韓国朝鮮語運用演習		
英文授業科目名	Intermediate Practical Korean		
開講年度	2005年度	開講年次	2年次
開講学期	4学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化演習科目		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	廉 東浩		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ

【主題および達成目標】
豊かな表現力習得と文化体験

【前もって履修しておくべき科目】
朝鮮語第一

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
朝鮮語第一・朝鮮語第二

【教科書等】
一回目の授業で指定する。

【授業内容とその進め方】
動詞の活用を学習し、より豊富な表現力を身につけるよう練習する。 間接的な文化体験を通して韓国社会や文化を理解するよう体験機会を多く設ける。

電気通信大学 平成17年度シラバス

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

評価方法：

中間試験・期末試験および演習・宿題の結果を、次のように総合評価する。

成績評価 平常点(出席率など)： 30%

期末試験： 70%

最低評価基準として、出席率70%とする。

【オフィスアワー：授業相談】

日時などについては事前にメールなどで相談すること。

【学生へのメッセージ】

文化開放などで若者同士の交流がより活発になっています。一番近い隣国韓国をより深く理解する上でもっとも大切なものは言語やその国の文化を理解することだと思います。受講に当たってもっとも必要なものは、韓国や韓国文化に対する興味と関心です

【その他】